

平成23年6月1日発行

わかやまこどもクリニック

第69号

http://www.wakayama-kodomo.com(パソコンサイト)
http://www.wakayama-kodomo.com/i/(携帯サイト)

雨の中に咲く紫陽花の綺麗な季節となりました。雨がずっと湿度が上がって、ジメジメと感じますね。食中毒をおこしやすい時期ですので、食品の取り扱いには十分注意しましょう。また梅雨の時期は、気管支の弱いお子様はゼーゼーが出やすくなります。早めの受診や、定期内服中の方は悪化を防ぐためにも、お薬を切らさないようにご注意ください。あせもや虫刺されが出来やすい時期にもなります。当院でもお薬を処方することができますので、お気軽にご相談ください。エアコンを使用する頻度が高くなってきます。室温の調節には十分気を付けてください。また、今年は震災の為電力不足が深刻な状況です。皆様で協力して節電をしましょう。当院でも節電に努めています。空調にも配慮しておりますが、冷えすぎ、暑すぎ等ある場合は、ご遠慮なくお申し出ください。



ヒブ、肺炎球菌、子宮頸がん

来院前にチェック!

ワクチン公費接種実施中

来院前にこちらを確認して、よりスムーズに受診しましょう

下記の年齢の方を対象に公費接種を行っています。
ヒブワクチン、肺炎球菌ワクチン…2か月～5歳未満
子宮頸がんワクチン…中学1年生～高校1年生の女子

ヒブワクチン、肺炎球菌ワクチンは一時中止の時期もありましたが、現在は特に副反応の報告もなく、順調に接種を進めています。当院では、当初から万が一副反応が起きた時のことを考慮し、「同時接種」はせず「単独接種」をしており、今後も単独接種を行ってまいります。毎週接種に来院されるのは大変ですが、大切なお子様を怖い病気から、予防接種で守りましょう。

子宮頸がんは、唯一ワクチンで予防できる「癌」です。性交渉による感染が主な原因なので、感染する前にワクチンを接種しておくことが、最も効果的です。現在高校2年生の方も、9月30日まで公費による無料接種を行えます。また、10歳以上の女性が対象なので、保護者の方も接種出来ます。公費対象年齢以外は、¥16,800/1回

子宮頸がんワクチンを受けるには?

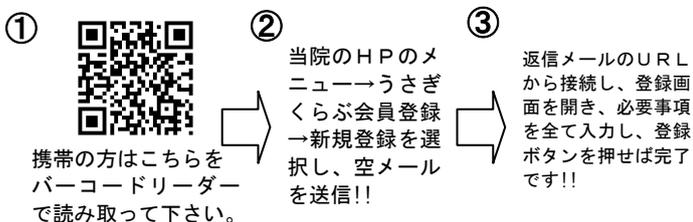
現在ワクチンが全国的に不足しています。入荷日、入荷量が不安定なため、接種ご希望の方には、受付でお名前を承り、ワクチンが入荷次第うさぎくらぶのメールでお知らせします。メール受信後にお電話で接種日時のご予約をお願いします。必ず接種ご希望のお子様のお名前と年齢で、**うさぎくらぶの登録**をしておいてください。

「うさぎくらぶ」ご案内・登録方法

当院 HP へアクセス

<http://www.wakayama-kodomo.com>(パソコンサイト)
<http://www.wakayama-kodomo.com/i/>(携帯サイト)

(バーコードは診察券にもついています)



- 予約専用電話 (556-7555) で予約を入れましたか?
- 保険証、受給者証、問診メモはお持ちになりましたか?
- 一緒に診察やお薬の処方希望のご家族がいる場合は、それぞれ問診メモのご記入をお願いします。
- ほかの病院で処方されているお薬や、使用しているお薬の内容のわかるもの(お薬手帳など)を持参しましょう。
- お子様の症状や経過を十分に把握していますか?
お子様の症状や経過は、病気を診断するために大切な情報です。正しくお伝えいただかないと、十分な診察や治療が行えません。必ず、お子様の状態を十分に把握された方がお連れください。
- 高熱が出ているとき、咳が出ているときは必ずマスクを着用し、嘔吐症状のある場合は、急に吐き戻しても良いように袋などを持参しましょう。
- 健診、予防接種の際は必ず母子手帳を持参しましょう。健診の用紙、予防接種の予診票の記入は済ませておいてください。
- おむつやミルク、着替えもお忘れなく。
- 治療などで院内の滞在時間が長くなる場合は、お気に入りのおもちゃなどを一緒にお持ちください。



※いち早く情報を提供させていただきたいので、かかりつけの方は皆様ご登録をお願いします。

～うさぎくらぶのメールから皆様に主にお伝えする事～

- ワクチンの入荷状況、不足情報
- ワクチン不足時の優先予約と接種
- ワクチン入荷待ちの方への入荷情報のお知らせ
- 定期予防接種の対象者へのご案内
(対象年齢の方にメールを送信します。接種済みの方にもご案内することがありますが、ご了承ください。)
- その他、臨時診療や診療時間の変更などのお知らせなど

インターホンを鳴らして下さい

感染を広げないよう、当院では感染室やうさぎルームなど別室をご用意しております。以下のような感染力の強い病気が疑われる時は、自動ドアを入る前に入り口右側にあるインターホンを押してください。症状を確認し、別室へご案内いたします。

また感染力の強い病気に罹り、まだ治ったと診断されていない時もインターホンをお願いします。

発疹が出ているとき（水痘、手足口病）

耳の下が腫れているとき（おたふくかぜ）

アデノウイルス、RSウイルス、インフルエンザに罹っているとき

喘息発作が起きやすい時期です

雨が降って急に気温が下がると「喘息」の発作が出やすくなります。喘息の方にとって、梅雨や台風、秋～冬の時期は発作が起きやすくなるので、あらかじめ予防内服をして発作を起こさないようにしましょう。喘息の治療の基本は、「出てしまった発作を薬で一生懸命抑え込む」のではなく、「発作を起こさないように予防していく」ことです。発作が起きない時期が長ければ長いほど、発作は起きにくくなり、治療に持っていくことができます。一番大切なことは発作を起こしていない時期の管理をいかに持っていかで、治療の成否が決まります。



あせも対策を始めましょう



気温が上がり、湿度も高くなってきました。汗をかくことが多くなり、あせものできやすい季節です。汗をかくことは体温調節をするために必要なもので、小さいときにたくさん汗をかくという経験はとても大切なことです。汗をかいた後、しっかりケアをしてあせも対策をしましょう。

★汗を吸いやすい、木綿やガーゼの肌着を使いましょう

★汗をかいたらまめに着替えます

★お風呂やシャワーで汗を流し、皮膚を清潔に保ちましょう

★処方された薬を指示通り使用します

夜間診療

毎週、月・火・木は21時まで

（受付・電話対応 20：45まで）

夜間診療日は、夜間診療準備のため

16：30～17：00まで一時休診（受付可）

祝日・年末診療

11月～3月の祝日は診療します。診療日・時間の変更、及び年末年始の診療日はご確認の上ご来院ください。

24時間電話予約

コンピュータにて24時間予約受付



当院の特徴

日曜診療

毎週13時まで

予防接種・健診専用待合診察室

病気の方とは別の部屋で、お待ちいただけます。別に部屋がありますので、診療時間内いつでも実施できます。

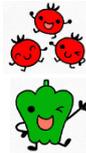
（要予約）日・祝・夜間も実施できます。



梅雨は食中毒に注意！



梅雨の時期から夏にかけて食中毒が発生しやすくなります。食中毒とは、病原体に汚染された食物や、有毒物質を含んだ食物を、誤って口にすることによって発症します。食中毒の主な症状は、嘔吐、下痢、腹痛、発熱で、場合によっては血便が出ることもあります。抵抗力の弱い乳児は重症化しやすいので、早めに受診しましょう。



食中毒を予防する三大原則

付けない(清潔)

増やさない(迅速、冷却、乾燥)

やっつける(加熱など)



- ★うがい、手洗いを徹底しましょう
- ★食器類、調理器具はよく消毒してから使いましょう
特に生ものを使用した後の調理器具は、しっかり洗って消毒してから次のものを使用しましょう
- ★買ったものや調理した後のものを常温で長時間放置しないようにしましょう
- ★古いものや調理して時間がたったものは、食べないようにしましょう
- ★新鮮な食品を使用しましょう
- ★生ものは子供に与えず、よく加熱したものを与えましょう
- ★症状が出たらひどくなる前に受診しましょう

こんな時はすぐ病院へ

下痢の回数が多く止まらない
水分が全く摂れない
高熱が出ている
血便が出る
腹痛がひどく、嘔吐回数が多い



今後の予定

毎週月・火・木曜日は21時まで診療

- 6月 2日(木) 学校健診の為午後の診療は14：30～
- 16日(木) 学校健診の為午後の診療は14：30～
- 24日(金) 職員研修の為13：00まで診療(午後休診)
- 27日(月) 小児科夜間当番医の為22：00まで診療
- 7月 11日(月) 小児科夜間当番医の為22：00まで診療
- 18日(月) 海の日の為休診
- 8月 10日 13：00まで診療(午後休診)
- 11(火)(木)～16(火)休診
- 14：00～診療開始(午前休診)
- 17日(水) 診予定です。お薬切れなどにご注意ください

